

研究課題名	「定位放射線治療による早期肺癌治療における肋骨骨折の危険因子の検討」
研究機関名	武藏野赤十字病院
研究責任者	所属 放射線科 氏名 南場 鳴華
研究期間	(西暦) 2025 年 8 月 ~ (西暦) 2026 年 3 月
研究の意義・目的	肋骨骨折は、早期肺癌に対する定位放射線治療後の晚期有害事象として知られている。定位放射線治療後の肋骨骨折の危険因子を検討する。
研究の方法 (対象期間含む)	後ろ向き観察研究を行う。研究対象患者のうち、除外基準のいずれにも該当しない患者を対象とする。 研究対象患者：2014年6月1日から2022年12月31日までに武藏野赤十字病院放射線科で原発性肺癌（病理組織診断の有無は問わない）の原発巣に対し定位放射線治療を行った患者。 以下の情報を電子カルテおよび治療計画装置から取得する。 ① 臨床所見（年齢、性別、肺癌の腫瘍径など） ② 定位放射線治療に関する情報（照射のターゲットの体積、線量分割、肺に照射された線量に関するデータなど） ③ 治療による有害事象（肋骨骨折・胸壁痛発現の有無） 情報を取扱う際は、研究独自の番号を付して匿名化し使用する。 臨床情報や線量データと肋骨骨折および胸壁痛の発現の関連性を調べるためにロジスティック回帰分析による単変量解析を行う。
①試料・情報の利用目的および利用方法 ②利用し、又は提供する試料・情報の項目 ③試料・情報の取得の方法 ④利用する者の範囲 ⑤試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	①②③上述の「研究の方法」に記載 ④研究責任者 武藏野赤十字病院 放射線科 南場 鳴華 研究分担者 武藏野赤十字病院 放射線科 戸田 一真 益本 茜音 ⑤武藏野赤十字病院 放射線科 南場 鳴華 武藏野赤十字病院 院長 黒崎 雅之
問合せ先	当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問合せ 〒180-8610 東京都武藏野市境南町1-26-1 武藏野赤十字病院 所属 放射線科 氏名 南場 鳴華 TEL：0422-32-3111（代表）6771（事務局内線） FAX：0422-32-3525